

第7期鹿追町総合計画 策定会議専門部会 議事録

| | | | | |
|------------------|-------------------------|-----------|--------|----------------------------|
| 専門部会名 | 経済専門部会 (第2回) | 議事録作成者 | 企画課企画係 | 三好 健介 |
| 開催日時 | 令和5年9月 1日 18時00分～19時10分 | | | |
| 開催場所 | 鹿追町役場2階 第2会議室 | | | |
| 委員 事務局等 出欠 | 出 | 部会長 上嶋隆夫 | 出 | 農業振興課長 檜山敏行 |
| | 出 | 副部会長 櫻井文彦 | 出 | 農業振興課 環境保全センター担当課長 城石賢一 |
| | 欠 | 委員 相澤政則 | 出 | 商工観光課長 大西亮一 |
| | 出 | 委員 上嶋尚 | 出 | ジオパーク推進課長 高井宏行 |
| | 出 | 委員 山木友子 | 出 | 建設水道課長 大上朋亮 |
| | 出 | 委員 松本宏樹 | 出 | 農業委員会事務局長 津川 修 |
| | 出 | 委員 松江光 | 出 | 企画課 三好健介 |
| | 出 | 委員 松谷元晴 | | |
| 出 | 委員 和田幸裕 | | | |

| 発言者 | 主な発言内容 |
|-------|--|
| 檜山課長 | 〈1. 開会〉 |
| 上嶋部会長 | 〈2. 部会長挨拶〉 みなさんから、ご意見・ご質問を出していただき、よりよい会議にしていきたいので、よろしくお願いします。 |
| 檜山課長 | 〈3. 議事〉 第7期鹿追町総合計画 基本計画の後期見直し（案）について （基本計画毎に、委員の皆様からご意見・ご質問をいただいた。） 【農業について】 前回の会議で出た櫻井副部会長からの、更に一步踏み込んだサルモネラ対策を打ち出さないといけないというお話は、総合計画の中では、P74の施策④家畜衛生対策の強化として、関係機関と連携を取りながら進めていく。 和田委員からの、畜産クラスター事業は対象になりにくいので、別な形の使いやすい制度を打ち出してほしいというお話については、総合計画P72の施策⑥畜産クラスター事業の活用の中で、クラスター協議会としてタイムリーな施策を打ち出せるように協議して行くので、ご理解いただきたい。 |
| 松谷委員 | 質問なのだが、バイオガスプラントの下水汚泥の処理量はどのくらいか。発生するバイオガスの量が多ければ、町民に還元できないか。 |
| 城石課長 | 町内で発生する下水汚泥 約1,000tを全量処理している。処理するほとんどは家畜排せつ物で、総処理量 35,000tからみれば数%である。生ゴミは300t程度。下水汚泥は炭素量が少ないので、ガスの発生量は少ない。 |

| 発言者 | 主な発言内容 |
|-------|--|
| 和田委員 | 近年離農が著しく多い中で、バイオガスプラントの3基目の建設を検討している。現在、中鹿追のプラントでは、作られた消化液を構成員や近隣の畑作農家の畑のみに散布しているが、瓜幕のプラントでは、構成員だけでは散布しきれず、中鹿追のプラントの構成員の畑にも散布している。第8期の総合計画策定に向けては、本当に3基目のプラントが必要かどうかを検討してほしい。 |
| 城石課長 | 総合計画の中でも、家畜のふん尿処理という観点から、未整備地区の整備を推進していく計画を引き続き載せた。バイオガスプラントで処理したからといって原料が減るわけではない。今後液肥が余ることも想定されるので、河川放流基準を満たすまで水処理をするか、濃縮技術を活用するかを検討する。生産された消化液を全量使うことが望ましいが、消化液生産量に対する耕地面積を鑑みながら計画していきたい。 |
| 和田委員 | 昨今の肥料高騰の状況の中で、肥料としての消化液を今後十分に活用できる新たな試みを検討して欲しい。 |
| 城石課長 | 肥料高騰の中で、液肥が代替できるような形でさらなる積極的な活用を検討していきたい。 |
| 松本委員 | <p>(1) 資料P7に「農村風景は、貴重な観光資源である」とある。道端から見える農村風景は、雑木や草が生えており、魅力的な風景として観光に結びつけるには、魅力が弱い。もう少し草刈りが進むとありがたい。明渠をはっきり見せる事で、熊などの害獣が通りづらくなり、住みよいまちづくりにも繋がる。</p> <p>(2) 特産品開発について。食と農と土を結び付け、こうした大地の成り立ちだからこの食べ物おいしいというのがジオパークの考え方にある。今後協力関係ができると嬉しい。</p> |
| 檜山課長 | 農村景観の関係は、国の農地水の事業で、農業者が自ら整備することを継続して実施している。全て綺麗にすることはなかなか難しいが、道路管理担当と連携しながら進めていきたい。特産品については、商工観光課等関係課と連携しながら進めていきたい。 |
| 櫻井副部長 | <p>(1) 資料P1の現状の部分について。総合計画の前期の期間で起こったことが反映されておらず、今の現状分析にはなっていない。コロナのこともあるし、ロシアとウクライナの戦争の影響で様々な営農資材価格が高騰していることもあるので、そうした内容を記載してはどうか。</p> <p>(2) 輸入に依存していたものが入らなくなってきており、食の安定供給ということが見直されている。生産コストが上昇しても販売価格に転嫁できないため、農畜産物の価格をどのようにして再生産可能な価格に転嫁していくかというのが、食料・農業・農村基本法の主要な議題になっている。そういうことが今の課題としてある。今鹿追町として取り組んでいることとして、食の教育だったり、そうした言葉がないので、追加してもいいと思う。</p> <p>(3) 資料P3の施策の具体的内容⑥畜産クラスター事業を活用した～という記載について。新型コロナウイルスによる急激な変化により、現状はクラスター事業は機能していない。あと1・2年もすれば事業が使える環境に戻るかもしれないが、総合計画の記載としては、このままにしておくのか、見直すのか。</p> <p>(4) 資料P7の課題 牛サルモネラ感染症による被害が発生しているということの施策の具体的な内容に、自衛防疫組合によるワクチン接種とある。ワクチンは打つことになったのか。まだ決まっていないのであれば、記載しない方がいい。</p> |
| 檜山課長 | サルモネラワクチンについては、確認し、内容によっては記載を修正する。 |

| 発言者 | 主な発言内容 |
|--------------------------------|---|
| 上嶋部会長 | <p>【林業について】 意見等なし</p> <p>【商工業について】 事業承継対策も必要だが、空き店舗を活用して新規事業に対する支援について、今後話していかないといけないと思っている。</p> |
| 松本委員 大西課長 | <p>資料P18に記載の新たな特産品開発について。環境保護活動として然別湖のザリガニを捕獲している。この活動をうまくブランド化に結びつけて、環境保護のPRをしていくことを今後検討してほしい。 わかりました。</p> |
| 松本委員 大西課長 | <p>【水産業について】 資料P21の現状の部分で、ミヤベイワナが徐々に資源回復してきておりと記載されている。今期の総合計画ができた後だが、魚の数が減っている現状にあるので、なんとかするための調査を始めた方がいい。然別湖の環境も大きく変化しており、孵化事業をしたからといって単純に魚の数が回復しているわけではない。見直し・調査をしていくといい。</p> <p>昨年度遡上してきた魚の数が少なかった。要因の一つとして、平成28年の台風被害があると考えられる。その時の稚魚が親魚となって帰ってくるころのため、数が少なかったのではないかと推測している。魚の減少が一過性のものなのか、全体として少なくなっているのかは、1年では結論を出せない。何年か見ないとわからないので、その辺りを含めて、現状の記載を修正したい。</p> |
| 上嶋部会長 大西課長 上嶋部会長 大西課長 | <p>【観光について】 新たな道の駅の建設について。建設の検討委員に町外の人を入れるか。利用は町外の人が多い。 今の所は町内の人を中心に考えている。 もし可能なら、質問コーナーを設置し、アンケートに答えてもらうことで、もっといい道の駅を目指せるのではないかと。 わかりました。</p> |
| 松本委員 | <p>【ジオパークについて】 意見というより報告的なことを。鹿追町では、最近注目されている素材が多い。 ナキウサギを目的とした観光客が増え、道が踏み荒らされている。観光客が増えると、みなさん普通に歩いているだけでも、自然は荒れていく。このことの対策を検討する必要がある。利用しながら上手く使っていくという保全を鹿追独自に考えていけるといい。 然別湖の中が砂漠化しており、この問題をいかに表に状況を伝えつつ、それを守る手段に費用がかかるので、ふるさと納税に頼るといった検討も必要。 北海道石も注目を浴びている。自然のポテンシャルが高い然別湖をどのようにして、人を集めつつ守っていくかという保全活動を、ジオパークで検討している。</p> |
| 松本委員 大上課長 | <p>【土地利用について】 資料P34に河川の環境整備と記載があるが、具体的にはどのようなこととするのか。河畔林が茂っているのを整備するというのは含まれるか。川の護岸の中の木がかなり茂っている。今の気温で成長も早くなっている。洪水対策として河畔林の伐採が検討されているか。 今年度と来年度で、河川の土砂上げと木の伐採を計画している。</p> |

| 発言者 | 主な発言内容 |
|------|---|
| 松本委員 | <p>【花、公園について】 健康公園の上の治山の森について。古くなった公園を整備する計画はあるか。橋が老朽化して歩けなかったり、倒木があったり、山の上の方には登れなかったりする。</p> |
| 檜山課長 | <p>治山の森への道は、北海道の事業で整備している。倒木をすぐに移動できないときは、通行止にしている。</p> |
| | <p>【住宅について】 意見等なし</p> |
| | <p>【水道、下水道について】 意見等なし</p> |
| | <p>【公共交通について】 意見なし</p> |
| 松江委員 | <p>【道路について】 芽室に向かう道の、美蔓にある一灯式信号機の交差点について。事故が多いので、とまれの標識をつけられないか。</p> |
| 大上課長 | <p>昨年、1週間に2度の事故があり、道道と町道の交差点なので、道道の管理者である帯広建設管理部と鹿追町と、とまれの標識と信号の関係の警察とで、交通安全対策について協議した。道道には道路に溝をつけた。とまれの標識をつけるように警察に要望してはいる。今後もさらなる対策が必要か、帯広建設管理部と鹿追町と警察とで検討する。</p> |
| 松江委員 | <p>町内の交差点でとまれの標識がなく、危険な思いをしたことが何度かあるが、とまれの標識をつけることはできないか。</p> |
| 大上課長 | <p>警察にとまれの標識をつけるよう要望してはいるが、全ての交差点にはつかない。町としては立看板を設置することくらいしかできない。この交差点が危ないというのを具体的に教えていただけたら対応する。</p> |
| 松江委員 | <p>道路の幅について。4号線の道路について、道幅が狭くトラックが幅寄せしてくる。道幅を広くできないか。</p> |
| 大上課長 | <p>道路は交通量によって国道になったり町道になったりし、それにより道路幅も決まる。大きな車が通るからといって、町道の幅を広げるとするのは難しい。</p> |
| 上嶋委員 | <p>道路の路肩が低くなっていることも、幅寄せの原因だと思う。旧北鹿追小学校のあたりの路肩が低い。道路が平らだと少し改善される。</p> |
| 大上課長 | <p>わかりました。</p> |
| 松本委員 | <p>然別湖へ向かう道道の道路脇の木が古くなってきており、風が吹いて倒れたりしている。総合計画の中でみていただければありがたい。</p> |
| 大上課長 | <p>道道・国道の交通安全施設整備促進の中で要望等進めていきたい。</p> |
| | <p>【労働力の確保について】 なし</p> |
| | <p>(全体を通して)</p> |
| 上嶋委員 | <p>【観光と農業について】 観光客が畑に入って写真を撮ったりする。作物の病気をもち込む恐れがあるので、畑や畜舎に入らないような周知をしてほしい。</p> |
| 大西課長 | <p>看板の設置は難しいので、観光協会・町のHPやSNSで情報発信していく。また、多くの人が寄る道の駅でも周知する。</p> |

| 発言者 | 主な発言内容 |
|-----------------------------|--|
| 檜山課長 委員 上嶋部会長 | <p>多くのご意見をいただいたが、総合計画を見直す部分としては、櫻井副部会長からいただいた農業についての見直しと、観光についてのいくつかの見直しということでもいいか。 いい。</p> <p>〈4. 第3回 経済専門部会の日程について〉</p> <p>たくさん意見をいただいたが、全体としては大きな修正はないので、本日出た意見をもって総合計画を修正し、その案を委員に送付し確認してもらいたい。</p> <p>次回集まる予定はなし。</p> |
| | <p>〈5. その他〉</p> <p>特になし</p> |
| 檜山課長 | <p>〈6. 閉会〉</p> |